

## 東京都公民館連絡協議会職員部会 第2回（報告）

令和元年5月22日（水）14時より 日野市中央福祉センター 集会室3

### 1 出席者（敬称略）

日野市（部会長）日野市中央公民館高幡台分室	佐藤 岳彦
日野市中央公民館	瀧口 英彦
国分寺市（副部会長）国分寺市立恋ヶ窪公民館	増本 佐千子
国立市 国立市公民館	辻口 朋香
西東京市 田無公民館	山本 裕美子
福生市 福生市公民館松林分館	松浦 裕人
狛江市 西河原公民館	泉 郷子
東大和市 東大和中央公民館	高木 勝利
昭島市 公民館	小松 美香
町田市 生涯学習センター	矢嶋 良史
小平市 小平市立上宿公民館	細淵 雄一郎
顧問	伊東 静一
※ご欠席 小金井市 小金井市公民館	小磯 伸

### 2 事務局より

- ・職員名簿の確認を行った。今後各市あてにデータ送付を行う。
  - ・職員部会 ⇒ 本日は都公連研修などのテーマについて検討する。
  - ・小松さん(昭島市)が今年度職員部会、最初の出席なので、自己紹介。
  - ・各市の委員自己紹介に続き、資料を確認。
  - ・今後のスケジュールについて。  
⇒今年度は日野市内で何回か別会場を予定しているので、各市の「旅費」の状況を把握しておくようお願いします。
  - ・企画委員会(昭島市)の出席は日野市・国分寺市とする。
  - ・職員部会ニュース  
講座・事業の取り組みはA4：1枚に、各市担当職員の思いや課題を織り込んだ文章を順番に執筆する。  
⇒ミニコラムは各市の「情報発信」の方法、「居場所づくり」など、各市の特徴や取り組みを掲載したい。SNSなどの取り組みや、各関係機関との協働なども。参考事例となるような内容を紹介。
- 質問：職員部会ニュースは、どこに発信しているのか？  
⇒ 対外向けで無く各市公民館職員の情報共有のもの。

⇒ 概ね1ページ 全体で4ページ分

○意見：例えば、国分寺市では3館が各々まつりを開催している。

⇒壁面の利用、立て看板、自治会町内掲示板、スーパーなどへの掲示、配布などしているが、それでも足りないとの指摘あり。費用対効果の面から、また若者への発信から電子版が必要かと思う。

⇒デジタルサイネージも有効か。試行で実施してみても良いと思う。

○意見：「情報発信」だけだと複数回発刊ではネタが尽きる。

事務局：初回は日野市と国分寺市で作成するが、「居場所づくり」なども含め、公民館のちょっと自慢できる点を紹介したらいいのでは。

### 3 協議事項

・職員部会研修（9月18日予定）について

前回のアンケートも参考に協議を行った。

講演⇒グループ討議が流れかと思うがどうか？

今日を含め残り3回でテーマと講師を決めたい。

○意見：各市の財政状況が違い、公費を使って事業を展開する事への評価が大切ではないか。公民館事業が必要な課題を提供して、決算委員会などで、きちんと説明出来ているか？職員構造も変わっている。

職員として、しっかりと知識を持って、変化を把握し、財政当局などに説明出来ているかが大切。

○意見：職員部会は秋の部会研修、来年の公民館研究集会の部門別集会の企画運営に追われるが、それだけではもったいない。部会内部での学習会も検討すべきではないか。研修部会では各市の財政状況（公民館費）を確認している。また、SDGsなども学べたら。

・その他、各市の事業紹介などの意見もあった。

その後、二グループに分かれて討議し、以下のようなテーマが。

・「失敗事例から学ぶ」というのはどうか。

・「講座の企画運営」について、

例えば、講座の企画立案 ⇒ 講師の選定方法などについてとか。

・「利用者との関わり方 ⇒ 危機管理（サークル支援など率直に）

例えば、利用者交流における職員の役割など。

・「情報発信」各市の広報活動 SNSなど

○顧問：講師選定は悩む。⇒ 失敗事例が多々あった。

不評と思われたが、逆に受講者にインスパイアされた講座もある。

職員と講師の事前打ち合わせなど、齟齬が無く理解が合っているか。

事業実施の意味合い ⇒ 講師の5冊くらい本を読む事が必要。

スタンス（目的）を持って。そこが曖昧だと、講師に見抜かれる。

事業実施には、分析（地域調査、意識調査）と実地踏査が必要。

弱者に焦点を当てて企画立案しているか。

公費を使うだけの事業では成り立たない。

その事業自体に中身があるか。市民ニーズがあるか確認する。

事務局：以上の話し合いの内容を受けて、次回までに大きく二つくらいのテーマを提示してそこで決定したテーマを膨らませていきたい。

## 5 各市の広報（公民館だより）について

東大和市 公民館まつりが近づいている。情報共有をお願いするかも。

福生市 3館合同で、年3回全戸配布

各館でも独自に発行（手配り 2,000～3,000部）している。

国分寺市 表面は市報。月2回発行 講座実施をアナウンスするが、講座実施の成果などは伝えていくことが課題。

町田市 広報、HPでメイン事業の募集をする。

狛江市 グループ紹介 ⇒ 担当がグループに依頼する。

公運審の報告なども。

小平市 公民館だより年4回発行。浄書印刷でカラー刷りが可能。

西東京市 毎月1日号に市報と一緒に折り込まれている。

講座は公民館だよりでの応募が多数。

1面 歴史散歩ができるような内容

4面 「間違い探し」イラスト、公運審報告

参加者の声。

昭島市 偶数月の1日に公民館だよりを発行。公運審の報告なども。

※日野市と小金井市は別の機会に説明

## 6 その他

次回以降も各市が発行した新しい「公民館だより」を持参する。

次回、6月19日開催。新任研修のため、伊藤顧問は欠席。